

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

1 化学品および会社情報

- ・ 製品コード
- ・ 商品名： MycoPerm-BLUE
- ・ 製品番号： SDL753 (12ml bottle)
- ・ 物質および混合物の重要な特定用途および避けるべき用途：
- ・ 製品説明： 該当する詳細情報なし。
- ・ 安全データシートの供給者に関する詳細
- ・ 製造者/供給者：
株式会社スギヤマゲン
東京都文京区本郷2丁目3番9号
電話番号 03-3814-0285
FAX番号 03-3815-3045

2 危険有害性の要約

- ・ 物質または混合物の分類：



どくろ

Acute Tox. 3 H301 飲み込むと有毒
Acute Tox. 3 H311 皮膚に接触すると有毒
Acute Tox. 3 H331 吸入すると有毒



健康有害性

Muta. 2 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
STOT RE 2 H373 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ



腐食性

Skin Corr. 1B H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
Eye Dam. 1 H318 重篤な眼の損傷
Flam. Liq. 4 H227 可燃性液体

- ・ ラベル要素
- ・ 危険有害性の絵表示



- ・ 注意喚起語「危険」
- ・ 表示の危険有害性を決定する成分
フェノール
乳酸

(2ページに続く)

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

・危険有害性情報:

H227 可燃性液体
H301+H311+H331 飲み込んだり皮膚に接触したり吸入すると有毒
H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H373 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ

・注意書き:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。
P260 粉じん/ミストを吸入しないこと。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後よく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P321 特別な処置が必要である（本安全データシートの応急措置の説明を見よ）。
P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P303+P361+P353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P311 医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
P361+P364 汚染された衣類を直ちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P370+P378 火災の場合：消火のために炭酸ガス、粉末消火薬剤または水噴霧を使用すること。
P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。
P501 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

・未知の急性毒性値:

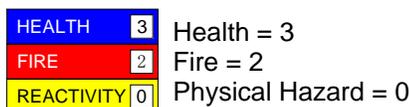
この値は、毒性値または生態毒性値として定まった既知の情報を参考にしてしている。
混合物には未知の毒性成分が20.7%含まれる。

・分類システム：NFPA/HMISによる定義：0-ほとんどなし、1-危険度わずか、2-危険度中、3-危険度高、4-危険度が非常に高い

・NFPA ratings (scale 0 - 4)



・HMIS ratings (scale 0 - 4)



・分類されない危険有害性 (HNOC) : 不明

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

3 組成および成分情報

- ・ 化学的性質：物質
- ・ 内容：下記物質と無害な添加物との混合物。

・ 危険成分

CAS: 108-95-2 RTECS: SJ 3325000	フェノール ☠ Acute Tox. 3, H301; Acute Tox. 3, H311; Acute Tox. 3, H331; ☠ Muta. 2, H341; STOT RE 2, H373; ☠ Skin Corr. 1B, H314
CAS: 50-21-5 RTECS: OD 2800000	乳酸 ☠ Acute Tox. 3, H331; ☠ Eye Dam. 1, H318; ☠ Skin Irrit. 2, H315

・ 追加情報：

この混合物での当該成分の正確な割合は、機密であると考慮し、29 CFR 1910.1200の§1910.1200 (i)「企業秘密」の項の規定に基づき非公開とする。

4 応急措置

・ 応急措置の記述

・ 一般情報：

直ちに医師に連絡すること。

粉じん、煙、または粒子に対するばく露後に中毒症状が発現する可能性がある。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。

本製品により汚れた衣類は直ちに脱ぐこと。

汚染された衣類を完全に脱いだ後、呼吸器を取り外すこと。

不規則呼吸または呼吸停止の場合、人工呼吸を行うこと。

・ 吸入した場合：

新鮮な空気または酸素を供給すること。医師に連絡すること。

意識がない場合、搬送のために安定した側臥位をとらせること。

・ 皮膚に付着した場合：

直ちに水と石鹸で洗い、十分に濯ぐこと。

直ちに医療処置が必要。火傷の治療を怠った場合、傷が治らなくなることがある。

・ 眼に入った場合：

直ちに医師の手当てを受けること。

医療関係者による眼の診察・点検を受けること。

眼を開け流水で数分間注意深く洗うこと。次いで医師の手当てを受けること。

コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。

・ 飲み込んだ場合：

無理に吐かせないこと。直ちに治療を受けること。

水を大量に飲み、新鮮な空気を提供すること。直ちに医師に連絡すること。

・ 医師への情報

・ 急性および遅延性の最も重要な症状および影響：該当する詳細情報なし。

・ 応急処置および必要とされる特別な治療の指示：

該当する詳細情報なし。

5 火災時の措置

・ 消火剤

・ 適切な消火剤：

炭酸ガス、粉末消火薬剤または水噴霧。大規模火災には水噴霧、耐アルコール性泡消火薬剤を用いて消火すること。

・ 安全性上で不適切な消火剤：該当する詳細情報なし。

・ 化学物質または混合物により生じる特別な危険有害性：

可燃性液体。蒸気が着火源まで移動し引火することがある。

引火点以上で爆発性混合物を生じることがある。

(4ページに続く)

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

- ・消火作業者への助言
- ・消火作業者用の特別な保護具：
呼吸用保護具
通常の火災と同様に、プレッシャデマンド型自給式呼吸器（NIOSH承認品または同等品）を着用し、皮膚や目に触れないよう全身保護具を着用すること。

6 漏出時の措置

- ・人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置
保護具を着用すること。保護具未着用者は近づけないこと。
- ・環境に対する予防措置：
十分な水で希釈すること。
- ・封じ込めおよび浄化方法と機材：
液体吸収材（砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず）で吸収する。
中和剤を使用する。
汚染された物質は、13項に従って廃棄物として処理すること。
十分な換気を確保すること。
回収した材料は規定に従って廃棄すること。
- ・他の項への参照
安全な取扱い方法に関わる情報については7項を参照。
人体への保護具に関わる情報については8項を参照。
廃棄に関わる情報については13項を参照。
- ・化学物質に関する防護措置規準

・ PAC-1:		
108-95-2	フェノール	15 ppm
9002-89-5	ポリ(ビニルアルコール)	24 mg/m ³
・ PAC-2:		
108-95-2	フェノール	23 ppm
9002-89-5	ポリ(ビニルアルコール)	270 mg/m ³
・ PAC-3:		
108-95-2	フェノール	200 ppm
9002-89-5	ポリ(ビニルアルコール)	1,600 mg/m ³

7 取扱いおよび保管上の注意

- ・取扱い
- ・安全な取扱いのための予防措置
作業場の換気/排気を十分に行うこと。
容器の開封および取扱いは注意して行うこと。
エアロゾルの形成を予防すること。
- ・爆発および火災に対する防護に関する情報：呼吸用保護具を用意しておくこと。
- ・混触危険性等、安全な保管条件
- ・保管：
・保管場所および容器が満たす要件：元の容器で保管すること。
・一般的な貯蔵施設での保管に関する情報：不要。
・保管条件に関するその他の情報：容器は厳重に密封すること。
・特定の最終用途：該当する詳細情報なし。

8 ばく露防止および人に対する保護措置

- ・技術的なシステムの設計に関する追加情報：詳細データなし。7項参照。

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

- ・管理指標：
- ・構成成分と職業ばく露限界：

下記成分は、PEL、TLVまたは他の勧告ばく露限界がある製品の唯一の構成成分である。
今回、その他の成分には既知のばく露限界はない。

108-95-2 フェノール	
PEL	Long-term value : 19 mg/m ³ , 5 ppm Skin
REL	Long-term value : 19 mg/m ³ , 5 ppm Ceiling limit value : 60* mg/m ³ , 15.6* ppm *15-min; Skin
TLV	Long-term value : 19 mg/m ³ , 5 ppm Skin ; BEI
生物学的限界値のある成分：	
108-95-2 フェノール	
BEI	250 mg/g クレアチニン 尿 シフト終了 加水分解したフェノール (バックグラウンド、非特異的)

- ・追加情報：本安全データシート作成時に有効であったリストを根拠としている。

- ・ばく露管理
- ・個人用保護具：
- ・一般的な保護および衛生措置：

通常化学物質の取り扱いに関する予防措置に従うこと。
飲食物および飼料より遠ざけること。
直ちに、汚れた・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。
休憩前および勤務後に手を洗うこと。
保護衣は別に保管すること。
目および皮膚との接触を避けること。

呼吸器保護器具：不要。

- ・手の保護：

試験を行っていないため、製品/調合剤/化合物を取り扱う際の手袋の材質として推奨されるものはない。
浸透時間、拡散速度および劣化を考慮して手袋の材質を選択すること。



保護手袋

手袋の材質は、不浸透性で製品/物質/調合剤への耐性を備えていなければならない。

- ・手袋の材質

適切な手袋の選択は、材質だけではなく、各メーカーの品質にも依存する。製品は複数の材料から製造されているため、手袋の耐久性は事前には予想できない。このため、使用する前に確認しなければならない。

- ・手袋の材質の浸透時間

正確な浸透時間については、保護手袋の製造者が測定と確認をする必要がある。

(6ページに続く)

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

・ 眼の保護：



密閉性の高いゴーグル

・ 人体の保護：



作業用保護衣

・ 環境へのばく露の制限と監視：なし

9 物理的および化学的性質

・ 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

・ 一般情報：

・ 外観：

形状：

濃い液体

色：

濃青色

・ 臭い：

無臭

・ 臭いの閾値：

未確定

・ pH値：

不明

・ 状態変化

融点/融解範囲：

未確定

沸点/沸点範囲：

≥100°C (≥212°F)

・ 引火点：

≥82°C (≥179.6°F)

・ 燃焼性 (固体、ガス)：

該当しない

・ 発火温度：

該当しない

・ 分解温度：

未確定

・ 自然発火性：

製品自体の発火なし

・ 爆発の危険性：

未確定

・ 爆発範囲：

下限：

未確定

上限：

未確定

・ 蒸気圧：

≤23 hPa (≤17.3 mm Hg)

・ 20°C (68°F) での密度：

1.02 g/cm³ (8.5119 lbs/gal)

・ 比重

未確定

・ 蒸気密度

未確定

・ 蒸発速度

未確定

・ 水溶解度/水混和性：

完全に混和

・ n-オクタノール/水分配係数：

未確定

・ 粘度：

粘性率：

未確定

動粘性率：

未確定

・ 溶媒含有量：

有機溶媒：

22.7%

VOC (揮発性有機化合物) 含有量：

22.74%

・ その他の情報

該当する詳細情報なし。

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

10 安定性および反応性

- ・ **反応性**：該当する詳細情報なし。
- ・ **化学的安定性**：通常の状態安定である。
- ・ **熱分解／避けるべき状態**：仕様書に従って使用される場合は分解しない。
- ・ **危険有害反応性の可能性**：危険反応については知られていない。
- ・ **避けるべき状態**：熱、火および着火源
- ・ **混触危険物質**：該当する詳細情報なし。
- ・ **危険有害性のある分解生成物**：危険な分解生成物は知られていない。

11 有害性情報

- ・ **毒性学的影響に関する情報**
- ・ **急性毒性**：

分類に関連のあるLD/LC50値

108-95-2 フェノール

経口	LD ₅₀	317 mg/kg (ラット)
皮膚	LD ₅₀	850 mg/kg (ウサギ)

50-21-5 乳酸

経口	LD ₅₀	3,543 mg/kg (ラット)
皮膚	LD ₅₀	>2,000 mg/kg (ウサギ)
吸入	LC ₅₀ /4 h	7.94 mg/l (ラット)

- ・ **主な刺激作用**：
- ・ **皮膚**：皮膚および粘膜に対する強度の腐食性作用
- ・ **眼**：
 - 強力な刺激性があり、重篤な眼障害の危険性。
 - 腐食性作用。
 - 重篤な眼刺激。
- ・ **追加の有害性情報**：
 - 本製品は、自社で承認した調製物に関する計算方法により、以下の危険性が示されている：
 - 有毒
 - 腐食
 - 刺激
 - 呑み込んだ場合、口腔および咽頭の腐食を生じ、食道および胃に穿孔を生じる危険性がある。
- ・ **発がん性分類**
- ・ **IARC (国際がん研究機関)**：
 - グループ1ーヒトに対して発がん性がある
 - グループ2Aーヒトに対しておそらく発がん性がある
 - グループ2Bーヒトに対する発がん性が疑われる
 - グループ3ーヒトに対する発がん性について分類することができない
 - グループ4ーヒトに対しておそらく発がん性がない

108-95-2 フェノール

3

9002-89-5 ポリビニルアルコール

3

(8ページに続く)

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

・ NTP (米国国家毒性プログラム)
該当成分なし
・ OSHA-Ca (米国労働安全衛生局)
該当成分なし

12 環境影響情報

・ 毒性
・ 水性毒性：
108-95-2 フェノール
EC50 4-7 mg/l (ミジンコ)
50-21-5 乳酸
EC50 130 mg/l (ミジンコ)
・ 残留性と分解性：該当する詳細情報なし。
・ 環境中での挙動：
・ 生物蓄積性：該当する詳細情報なし。
・ 土壌中の移動度：該当する詳細情報なし。
・ 追加の環境上の情報：
・ 一般的な注意事項：
製品の地下水、水路または下水道への侵入を防ぐこと。 希釈または中和されていない状態で、水域または排水路へ到達させてはならない。 微量であっても土壌に漏出した場合は飲料水に危険が生じる。
・ PBTおよびvPvBの評価結果
・ PBT：該当しない
・ vPvB：該当しない
・ その他の悪影響 該当する詳細情報なし。

13 廃棄上の注意

- ・ 廃棄処理方法
- ・ 推奨事項：
 - 一般のごみとして廃棄しないこと。下水道へ流さないこと。
 - 製品を廃棄する場合は、地方自治体の規則に従うこと。
- ・ 未洗浄の容器：
- ・ 推奨事項：該当する管轄の環境規定に従って廃剤の処理を行うこと。
- ・ 推奨される洗浄剤：水。必要に応じて洗浄剤を使う。

14 輸送上の注意

- ・ 国連番号：
- ・ DOT, ADR/ADN, IMDG, IATA UN2821
- ・ 国連品名：
- ・ DOT フェノール溶液混合物
- ・ ADR/ADN UN2821 フェノール溶液混合物
- ・ IMDG, IATA フェノール溶液混合物

(9ページに続く)

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

・ 輸送における危険有害性クラス：

・ DOT



・ 等級： 6.1 毒物
 ・ ラベル： 6.1

・ ADR/ADN



・ 等級： 6.1 (T1) 毒物
 ・ ラベル： 6.1

・ IMDG, IATA



・ 等級： 6.1 毒物
 ・ ラベル： 6.1
 ・ 容器等級：
 ・ DOT, ADR/ADN, IMDG, IATA III
 ・ 環境有害性： 該当しない
 ・ 使用者への特別な注意： 注意：毒物
 ・ 有害特定番号 (Kemlerコード)： 60
 ・ EMS番号： F-A,S-A
 ・ 積載区分： A

MARPOL73/78付属書II

およびIBCコードによる大量輸送： 該当しない

・ 輸送/追加情報：

・ DOT

・ 量制限： 旅客機・鉄道の場合：60 L

貨物機の場合：220 L

・ ADR/ADN

・ 微量危険物 (EQ)：
 コード：E1
 内装容器当たりの許容容量又は許容質量：30 mL
 内装容器当たりの許容容量又は許容質量：1000 mL

・ IMDG

・ 少量危険物 (LQ)： 5L
 ・ 微量危険物 (EQ)：
 コード：E1
 内装容器当たりの許容容量又は許容質量：30 ml
 内装容器当たりの許容容量又は許容質量：1000 ml

・ 国連「モデル規則」

UN 2821フェノール溶液混合物、6.1, III

(10ページに続く)

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：MycoPerm-BLUE

15 適用法令

・物質または混合物に適用される安全、衛生、および環境規則/法律

労働安全衛生法:	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物：フェノール 特定化学物質第3類物質：フェノール リスクアセスメントを実施すべき危険有害物：フェノール 新規名称公表化学物質：フェノール
労働基準法:	疾病化学物質：フェノール
毒物及び劇物取締法:	劇物：フェノールを含有する製剤
大気汚染防止法:	特定物質：フェノール 揮発性有機化合物：フェノール 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質：フェノール
水質汚濁防止法:	生活環境項目：フェノール類含有量 指定物質：フェノール
海洋汚染防止法:	有害液体物質 (Y類物質)：フェノール 有害液体物質 (Z類物質)：乳酸
危規則:	毒物類 毒物：フェノール
航空法:	毒物類 毒物：フェノール
港則法:	毒物類 毒物：フェノール
化審法:	既存化学物質：フェノール 優先評価化学物質：フェノール 旧第二種監視化学物質：フェノール 既存化学物質：乳酸 製造輸入量の届出を要しない物質：乳酸 既存化学物質：ポリ (ビニルアルコール)
化管法:	第1種指定化学物質：フェノール
道路法:	劇物 (車両の水底トンネルの通行制限)：フェノール

16 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報

・本安全データシートに含まれる情報および推奨は、当社の知る限りにおいて、発行日現在に正確なものです。本安全データシートに含まれるいかなる情報も、明示または暗示を問わず、保証を生じさせるものとみなされてはならず、法的に有効な契約関係を確立するものではありません。これらの情報の適用性および何らかの特定の目的のための材料または製品の適切性を判断するのは、使用者の責任となります。

・略語および略称

- ADR：欧州危険物国際道路輸送協定
- ADN：危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定
- IMDG：国際海上危険物規則
- DOT：米国運輸省
- IATA：国際航空運送協会
- ACGIH：米国産業衛生専門家会議
- EINECS：欧州既存商業化学物質インベントリー
- ELINCS：欧州届出化学物質リスト
- CAS：ケミカル・アブストラクト・サービス (米国化学会情報部門)
- NFPA：全国防火協会 (米国)
- HMIS：危険有害性物質識別システム (米国)
- VOC：揮発性有機化合物 (米国、欧州)
- LC50：半数致死濃度
- LD50：半数致死量
- PBT：難分解性高蓄積性有害化学物質
- vPvB：極難分解性及び極高蓄積性物質

安全データシート (SDS)

OSHA HazCom Standard 29 CFR 1910.1200 (g) 2012年版およびGHS改訂第3版

発行日：2022年9月6日

商品名：**MycoPerm-BLUE**

NIOSH：米国国立労働安全衛生研究所

OSHA：米国労働安全衛生局

TLV：作業環境許容濃度

PEL：許容ばく露限界

REL：勧告ばく露限界

BEI：生物学的ばく露指標

Flam. Liq. 4：引火性液体－区分4

Acute Tox. 3：急性毒性－区分3

Skin Corr. 1B：皮膚腐食性/刺激性－区分1B

Skin Irrit. 2：皮膚腐食性/刺激性－区分2

Eye Dam. 1：眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性－区分1

Muta. 2：生殖細胞変異原性－区分2

STOT RE 2：特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2